

質問5. 所属する学会について〈複数回答可〉（その他）

回答者 番号	その他記述
※	日本再生医療学会
※	日本化学会
※	日本化学会、日本ペプチド学会
※	日本菌学会、日本きのこ学会
※	日本Cell Death学会
※	日本ウイルス学会
※	日本動物学会
※	日本蛋白質科学会
※	日本薬学会
※	日本水産学会
※	日本生物工学会、日本微生物生態学会
※	日本薬学会
※	日本繁殖生物学会
※	微生物生態学会
※	日本眼科学会、日本緑内障学会
※	日本蛋白質科学会
※	日本生理学会
※	日本応用動物昆虫学会、日本比較生理生化学会

質問6-4. オンライン先行開催期間のシンポジウムについて<複数回答可> (適切でないと感じる点)

回答者 番号	適切でないと感じる点 記述
	記述なし

質問6-6. オンライン先行開催期間のシンポジウムについて〈複数回答可〉（その他）

回答者 番号	その他記述
※	一般演題から口頭発表へ応募したいが、合致するテーマがなく応募できないことが数年続いている。
※	オンライン開催時の音声トラブルが多いのが気になった開催がオンライン開催に慣れていない様子が画面を通じて伝わってくるのが気になった
※	オンラインだと仕事の片手間になってしまい、オンサイトと違って、じっくり向き合うことができない(向き合わなくなってしまう)

質問7-2. 公募シンポジウムについて〈複数回答可〉（適切でないと感じる点）

回答者 番号	適切でないと感じる点 記述
※	海外での国際学会に比べて質疑応答の時間が短く、議論を急かされているような雰囲気の中で質疑しなければならなかった。学会のセッション数は膨大な割に会期は3日間しかないので、発表時間・質疑応答の時間が共に十分ではなくなんとなく皆が急いでいるような印象だった。

質問7-10. 公募シンポジウムについて〈複数回答可〉（その他）

回答者 番号	その他記述
※	会場が狭い。立ち見でも足りないシンポジウムがあった。
※	シンポジウム全体の時間は妥当だと感じたが、演者が多いシンポジウムでは一人あたりの講演時間が短い場合もあり、議論を深められたかは少し疑問が残った。
※	あらゆるシンポジウムの会場で立ち見が多かったのもこれは要改善かと思われる。また、テーマ的に近いものが同日程に設定されていることが多く、見きれないほど忙しい日と時間が余る日の両極端だった。ポスター発表ができる口演発表者については良いと思うが、質疑応答の時間が全体的に短かったのでmeet the speakersのような機会がすべての発表者にあると思う。
※	オンサイトについても配信があるともっと良いと思いました。私自身は現地に参加しに行けましたが、やはり仕事の都合で現地に行けないということで悔しがっている同僚が周りにたくさんいました。また、私自身は女性で今回シンポジウムでの発表の機会をいただくことができ、とてもありがたかったのですが、一方で「女性を30%程度入れるように」というルールがあるというのは、女性である自分としてもあまり良い気分ではありません。性別に関係なく、良い演題を選出するべきだと思います。
※	微生物をメインにしたシンポジウムは2つだけしかなかったにも関わらず、その二つが同じ時間帯に開催されており、聴衆が2つに分断されてしまったことに大きな不満を感じる。シンポジウム応募者が口頭発表とポスター発表の2つを行わなければならないのは負担が大きかった。
※	人気のテーマでは会場が狭く、発表者が発表するまで立たされていたのは可哀想でした。発表者の席はやはり予め固定しておいた方がいいと思います。
※	座席数が極端に少ない会場があった点だけ、改善してほしい

質問8. 一般演題(ポスター発表)全般について<複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	サイエンスピッチの試みは良いが、短かすぎて何も話せなかったのが、演題数を絞って一人当たりの時間を伸ばした方がよい。
※	サイエンスピッチがポスターの真横だったので、うるさくてポスター発表がとても聞きづらかったです。ポスター発表とは異なる時間にするなどでポスターの邪魔にならない工夫が必要と思いました。サイエンスピッチの企画そのものは良いと思います。全体的に素晴らしくオーガナイズされた年会でした。大きな名札も良かったです。ありがとうございました。オンラインとオンサイト時期が分かれているのも参加しやすかったです。
※	ポスター会場が分散しているのがやや不便だった
※	ポスター発表会場が分散されていて、不便であった。
※	サイエンスピッチのサポート審査員として、審査を行いました。発表と発表の間が短かったこと、また、同じ演題の審査を行なった他の審査員と相談する時間も無く審査が難しかったです。サイエンスピッチを行うことには賛成ですが、審査する側に対する対応がもう少しあっても良かったのではないかと考えています。
※	サイエンスピッチはよかったがポスターセッションと同時進行するとどっちに行けば良いか分からず困ります。
※	明らかに人の流れが少ないポスターの場所があったので、神戸開催に不満はないが、改善が必要だと思う。
※	会場が分離していて不便。
※	ポスター会場が3つに分かれていたのは、不便であった。
※	演題数が多いため、事前にグラフィックアブストラクトやプログラム等が配布されたことで、それを参考に聴講したい演題を絞れたのはよかった。ポスター発表時間はもう少し長くてもよいかも感じた。演題数と会場の広さの関係で難しいかもしれないが、より多くの参加者と意見交換できるよう、一人当たりのポスター発表日を2日以上に設定してほしい(参考:微生物生態学会では2日間の発表で、発表時間を各日ずらしてより多くの発表を聴講できるようになっていた)。
※	会場が離れすぎだと感じた。ポスター会場は1か所にまとめたほうが葉の先生方と議論しやすいと思った。
※	会場が4つに分かれていて、目的の番号の発表にたどり着くのに(どの会場が何番から何番までの発表なのか、続きの番号がどの会場になるのか確認するのに手間取り)やや時間がかかった。
※	ポスターセッションのオンライン化には絶対に反対です。オンラインでは議論が深まりませんし途中参加も難しいと感じます。準備にかかる時間と費用に対し、得られる対価が見合っていないと感じます。
※	ポスターの会場が複数に分かれており、実際にディスカッションに使える時間が減ってしまうので、正直神戸会場では分生をやってほしくない。
※	ポスター数が多く難しいことは理解していますが、1演題に割り当てられたポスター発表の時間が短かったのではないかと思います。オンラインにアップロードする形式を取ることができれば、オンラインでのコメント機能もより活用できたのではないかと思います。
※	ポスター発表の際、「サイエンスピッチを見て興味を持って来た」という参加者がいたので、サイエンスピッチに登壇してよかったと思う。ただし、サイエンスピッチが開催されている前半は、サイエンスピッチが盛況な反面、ポスターエリアがやや閑散としていたので、前半の発表者が少し気の毒に思えた。

質問9. オンサイト会期中の各日のタイムテーブルについて〈複数回答可〉（その他）

回答者 番号	その他記述
※	内容的に被るテーマが同時間帯にシンポジウムが開催されているのが残念だった。
※	昼の時間にゆとりあってよかった。
※	ポスターはゆっくり回りたいので、全ての発表が終わってから夕方にかけての方がいいと思いました。
※	開始時間が9:30だったのがよかった

質問10. フォーラムについて〈複数回答可〉（その他）

回答者 番号	その他記述
※	晩御飯の時間帯でお腹も空くし、会場も大きすぎるし、特に盛り上がりがなかった。軽食付きで参加者も発言しやすいようなもっとカジュアルな形式でも良いと思う。

質問11. 年会の発表言語について(本年会では、指定企画シンポジウム:英語、公募企画シンポジウム:オーガナイザーに一任)＜複数回答可＞(その他)

回答者 番号	その他記述
※	英語圏の参加者にもっと配慮し、発表も質疑も全部英語で徹底した方が良い。今回はスライドに日本語を書いている発表者も居ましたので、ダジャレなどでも英語圏の参加者が理解できないと不愉快になるだけだと思います。
※	学会が目指すものによろしいと思いますが、海外からの演者を取り入れたいのならトークはスライドを含めて全て英語で行うべきだと思います。海外演者の方から「海外から人を招待しているのに演者が日本語で話し始める意図がわからなかった」という意見も聞きました。日本語話者だけに参加を絞るのであれば、日本語で進めて大丈夫だと思います。
※	会場の様子を見たところ、海外からの参加者の割合はあまり高くなかったと思います。言語を英語中心にするのはメリットよりもデメリットの方が多いような気がします。
※	全部英語でもいい。

質問13. 年会の参加登録/演題登録/要旨・プログラム検索/視聴サイトプラットフォーム一体型システム (AGRISMILE社ONLINECONF;オンライン講演セッションはZoomウェビナーで開催)や当日のトラブル対応などのオンラインサポート体制についてお聞きします<複数回答可> (その他)

回答者番号	その他記述
※	要旨・プログラム検索/視聴サイトで検索ワードと関係ない検索結果ばかり(関連ワード?)表示されて検索機能に問題があった。もともと検索結果を絞らないと本当に調べたい情報に辿り着けない。
※	見たい演題を検索することが難しかった。検索ヒット数が多すぎると感じた(スペースでand機能を使ってもかなりの演題数がヒットした。また、共著者検索がうまく機能していないように感じた。)。ポスター展示の場所もabstract画面を開くと見えなくなり一つ前の画面に戻る必要があったのも不便だった。
※	発表者の検索が使いにくく、不便であった。例えば名前前で検索した場合、名前の一部が被っている発表者も全て検索結果に表示されてしまい、とても使えたものではなかった。キーワードで検索した場合もキーワードに含まれる漢字が名前に入っている人が一緒に表示されたりと全くもって検索機能が不便であった。きちんとした所に制作を依頼すべきだと思った。
※	人名検索で拾う名前の範囲の広すぎる。下の名前の一部の読みだけ一致しているだけで検索結果に出てくると結果が多すぎて見る気を失った。結果、検索は自分の名前検索によるテスト使用として3回しかしなかった。ラストオーサーなどの検索結果がきちんと出てくるのか確認するすべもなく、非常に不満の残る検索システムであった。
※	オンライン要旨は、多くの人がみる会場で、wifiの強度が一定ではなく不便を感じるがあった。アプリケーションとして利用できた3年前の方が良かったと思う。
※	要旨・プログラム検索/視聴サイトの検索機能が余計なものを拾いすぎて、探したい演題をなかなか見つけれなかった。
※	問題多数。自分の発表の会場がマイページ等から確認できない(演題検索する必要がある)UIが悪く、どの機能がどこにあるか分かりにくい(特にスマホから見たとき)演者の名前前で検索するとき、文字単位で検索されるため、よく使われる漢字を含む名前だと探しにくい各演題の詳細ページでGAが拡大できない
※	要旨検索について検索ワードと全く異なるものを大量に拾う、逆に検索ワードを含む演題を拾えない等、検索機能はまるで役に立たなかった。演題数の多いポスターセッションでは、要旨検索による事前の下調べが必須であり、要旨検索機能の改善は必須だと思う。
※	要旨・プログラム検索サイトの検索機能が不十分で操作感が良くなかった。
※	オンライン講演セッションに対するサポートが足りていないと先生方から聞いた
※	分生のオンラインシステムとして一番大事なのは検索機能だと思うが、今回のシステムはこれを満たせているとは到底言えない。全一致やand検索がきちんと機能しないし、キーワード指定での検索もできない。tinderのような謎機能はいらないので次回は検索機能を充実させてほしい。
※	要旨・プログラム検索サイトそのものは使いやすいのですが、やはり紙の詳細版のプログラムが欲しいかなとは思いました。時代に逆行するようですが、やはり紙の詳細版プログラムがあるのとないのでは、演題の探しやすさや振り返りやすさがかなり違うように思います。
※	演題の検索機能が全く機能しておらず、不適切な演題を拾ってしまうので困った。ハートマークと手のマークの違いについて説明がなく意味が分からなかった。
※	検索機能で、特定の単語を入れると、関係無いものが沢山引っかかることがあり不便だった。
※	スマートフォンアプリがあると便利だと感じた

質問20. 今後の年会における他学会との連携についてお聞きします（その他）

回答者 番号	その他記述
※	どうでも良い

質問21. 前問までの設問・回答に関連するコメントや、その他年会全般についてのご意見があればお書きください。ここが良かったので続けてほしい、あるいはここを工夫すればさらに良くなるといった改善案など、率直なコメントを広くお寄せくださるようお願いいたします。

回答者番号	意見記述
※	ありがとうございました。全般にとっても良かったです。プログラムからgraphic abstractが簡単に拡大して見れるWebサイトの設計だとより良いと思いました。今回はいちいちpdfをダウンロードしないと高画質のabstractが見れません。
※	参加証は、シール貼り付け等、楽しめるものであり、役職もすぐにわかることができました。しかし、大きく、カバーが無いため、折れたり汚れたりする可能性があり、お手洗い等では扱いに気をを使うことが多かった。紙媒体ですぐに確認できる、簡単な冊子もあるとより良かったです。
※	キャリアパス委員会主催ランチタイムセミナーに参加したが、パネリストが皆PIでアカデミアで成功した人のみで、あまり参考にならなかった。PhDの可能性といいながらアカデミアの良さしか語っていなかった。もっと多様なキャリアパスの可能性や実際に他の分野に行った人の話を聞きたかった。
※	参加証が大きすぎて、邪魔でした。自分の参加セッション番号が書いてあるのは良かったです。
※	冊子のプログラム集の発行は必要ないが、PDFファイルをダウンロードできるようにしてほしい。その際、ポスターなどは日ごとに分割されていると目的のページを見つけやすいので良いと思う。ONLINE CONのサイトは、会場で見るとは重く操作性がいまいちだった。ワークショップの女性研究者の発表を30%というのは、必要性は理解するしそのくらいの女性研究者の参加があると良いと思う。しかし、現在のところ、動きやすい若手研究者が複数の学会で発表を求められ断りにくい状況になっていないか心配である。女性研究者の発表を増やすには、発表時間などに配慮が必要だと思う。
※	グラフィカルアブストラクトが細かすぎ、多数の演題から見たい演題を探すという目的に合致しないものが目立った。要旨検索システムのUIを考慮しつつ、学会として適切なインストラクションを用意したほうが良いのではないかな。
※	1. ポスター会場が4カ所に分散していたことは多いに不満であった。どのポスターがどの会場にあるかを確かめる手段がなかったため、とにかく歩いてポスターの場所を確かめるしかなかった。2. 一部の口頭発表会場が国際展示場であったことも不満であった。国際展示場は駅を挟んで反対側であり、容易には往復できない。ハイブリッド開催のときは会場移動の問題がなかったのもとても快適であったが、今年は非常に残念であった。
※	ランチョンに参加できなかった参加者が昼食を食べる場所が無く、また昼食を提供する業者も非常に限られていたので、次年度はもう少し配慮をして欲しい。
※	例年より大きなサイズの参加章(紙強化版)&DBCLS統合TVのイラストアイコン貼付シールは、議論のきっかけとなるものが多く、とても良い企画だと感じた。来年以降もぜひ継続してもらいたい。
※	キャリアパス委員会主催ランチタイムセミナーは、現役・OBOG問わず、アカデミックの現状を会場参加型でじっくりとに討論でき、バックグラウンドの異なる人たちの生の声を聴くことができ大変実りある企画だったので、ぜひとも次年度以降も開催してほしい。企業展示のデジタルスタンプラリーについては、訪れたい企業がどの会場に出店しているか探るのが大変だったため、どの会場にどの企業が出展しているかといった情報もオンラインで確認できるようにしてほしい。今年度は昨年度よりもスタンプラリーの案内が少なかったため、もう少し情報を掲載してほしい。
※	Overall, MBSJ annual meeting was good. But it was difficult to attend at the same time or same day English and Japanese presentation. However, if the presentation title and time will be included in MBSJ booklet, it will be easy to understand the research field which best matches with me for participation.
※	名札は今回の半分ぐらいの大きさで、名前や所属の欄は今回と同じぐらいの大きさで良いと思う。
※	開催言語の設定が中等半端だと思いました。海外の話者をもっと招聘して国際交流を深めたいのなら英語で、その目的がないなら完全に日本語で行えば良いかと思えます(セッションごとに変わるかとは思いますが...)。ポスター会場が海外からの参加者が孤立気味になっているのを見かけて少し寂しくなりました。会期のボリュームに対して開催期間が3日は十分ではないと感じます。
※	神戸会場は移動が大変すぎる上、一つ一つの部屋が小さすぎたので分生には向かないと思う。遠方から来る人向けに旅費支援をするなどした上で、福岡会場や横浜会場など移動が少なく済む会場のみでの実施に限るべき。
※	電源が講演者用しかなかったため、パソコン、スマホの電気が無くなりそうになって不便でした。特に私のパソコンは2時間しか持たないので、発表の準備やポスター発表の際の補助資料として使おうとしたのですが、制限を受けました。ランチョンセミナーの整理券は会場で時間が来れば締め切ってしまうので意味が無いと感じました。
※	ポスター会場の画鋲入れに企業からの広告がありましたが、就活サイトの広告で「早期から就職活動に注力する事を促す」内容の広告がありました。分子生物学会の方針としてはむしろ、過剰な就職活動から学生を守るべきではないかと思えます。出展物や広告の内容について精査されていないのでしょうか？
※	オンラインポスター発表は今後も絶対にやめたほうが良い参加費用が高すぎる、高騰するくらいならオンラインは不要
※	サイエンスピッチ受賞者の発表が遅い(去年は閉会式で発表されていた)。発表者側も、審査員側も結果が気になっていると思う。また、一部の演題で、サイエンスピッチの登壇会場と、その演題のポスター掲示会場が異なっているのは、混乱を招くので解消してほしい。ミスが出店しているのはすくよかった。